六ヶ所村立郷土館通信

2024.6.21　No.153

六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信！

森林鉄道ツアーを開催！

～新たな軌道跡を見学しました！～

６月１５日（土）村立郷土館主催、「六ヶ所森林鉄道ツアー」を開催しました。今回は、二又地区の秋戸淳一さんにガイドしていただきました。淳一さんの父慶典さんは、森林鉄道保線係で機関車の運転助手をされた方です。

郷土館から約２㎞離れた二又貯木場跡に移動して、ツアーを開始しました。

① 貯木場では、二又事務所跡と側溝に再利用された青森ヒバ製の枕木を確認後、老部川を渡る橋の橋台跡を見学しました。

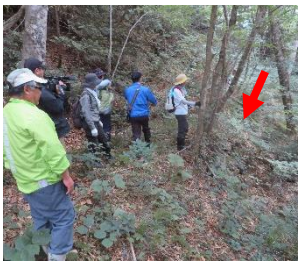
② 今回新たに発見した、二又貯木場から老部川に沿って建設された、尾駮林道までの約２ｋｍのトロッコの軌道跡や川原石でつくられた石垣（押さえ盛土）約３００ｍを見学しました。昭和27年に慶典さんが働いたころには、「トロッコの軌道や枕木がすでになく、尾駮まで歩いて行けた」そうです。

石垣が奥まで続いている

③ その後、約１ｋｍ離れた「ダイナマイト小屋」まで散策。林道沿いには、モミジイチゴが鈴なりで、食しながらの散策となりました。

淳一さんによる森林鉄道の歴史の解説

今回確認された軌道跡を行く


石垣が老部川に沿って続く

崩れそうなダイナマイト小屋

モミジイチゴがおいしかった

モミジイチゴ

参加者の感想

・全部、楽しかった。二又貯木場の枕木や老部川に残る橋台、林道を歩きながらキイチゴを食べることができてよかった。

・ヒバの話がよかった。親木の周りに幼木が育つのは、根っこが菌糸でつながり、養分のやりとりをしているので、日があたらなくても育つこと。